

# 青森県景気ウォッチャー調査 (令和4年7月期)

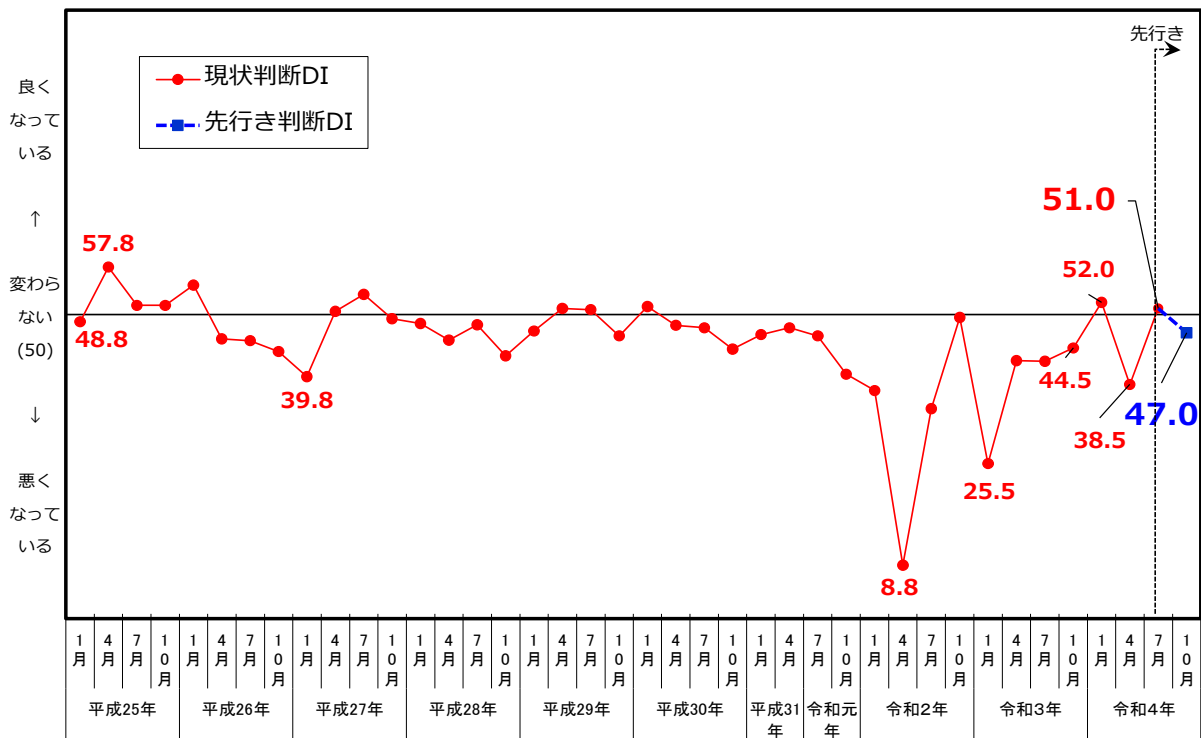
調査期間 令和4年7月1日～7月21日 回答率 100%

## 概 況

7月期の景気の現状判断DIは51.0となり、前期から12.5ポイントの上昇となり、景気の横ばいを示す50を2期ぶりに上回った。

先行き判断DIは、現状判断DIと比べて4.0ポイント低下の47.0となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



令和4年8月

青森県企画政策部統計分析課

## 1. 結果概要

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が2.0ポイント上昇、「やや良くなっている」が21.7ポイント上昇、「変わらない」が9.8ポイント低下、「やや悪くなっている」が3.5ポイント低下、「悪くなっている」が10.4ポイント低下となった。

全体では51.0となり、前期から12.5ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を2期ぶりに上回った。

判断理由では、会合・イベント等の再開や5月の大型連休における県内外の人流の増加、消費活動の回復といった声がある一方で、ウクライナ情勢の長期化や円安の影響による原油高や原材料、食料品、光熱費等の価格高騰が家計を圧迫し、購買意欲が低下しているといった声や、給与が物価高に追い付いていないといった声もあった。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べると、家計関連全体で13.6ポイント上昇、企業関連で9.7ポイント上昇、雇用関連で7.2ポイント上昇となった。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全地区で上昇し、東青、下北で景気の横ばいを示す50を上回った。

### (2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

#### ① 県全体の動向

今期調査の現状判断DIと比べると、「良くなる」が1.0ポイント上昇、「やや良くなる」が9.0ポイント低下、「変わらない」が同水準、「やや悪くなる」が7.0ポイント上昇、「悪くなる」が1.0ポイント上昇となった。

全体では47.0となり、今期調査の現状判断DIと比べて4.0ポイント低下し、景気の横ばいを示す50を下回った。

判断理由では、青森ねぶた祭をはじめとしたイベント等の開催に期待する声がある一方で、新型コロナウイルスの感染再拡大を危惧する声のほか、感染再拡大による給与の減少や資金繰りに対する不安、ウクライナ情勢の長期化や円安による原油高や原材料、食料品、光熱費等の価格高騰が消費活動を停滞させることへの懸念の声が多くみられた。

#### ② 分野別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、家計関連全体で4.0ポイント低下、企業関連で6.9ポイント低下、雇用関連で3.6ポイント上昇となった。

#### ③ 地区別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、全地区で低下し、津軽、県南で景気の横ばいを示す50を下回った。

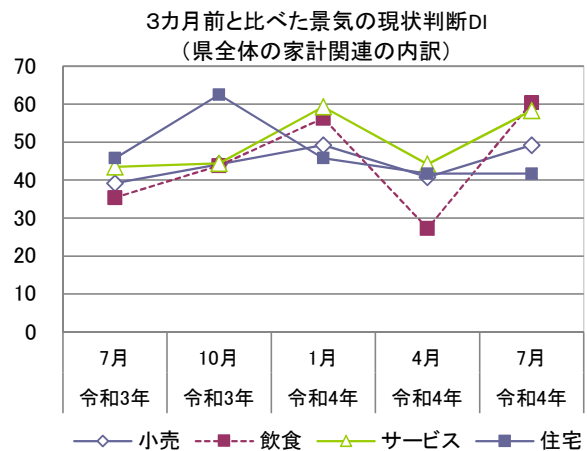
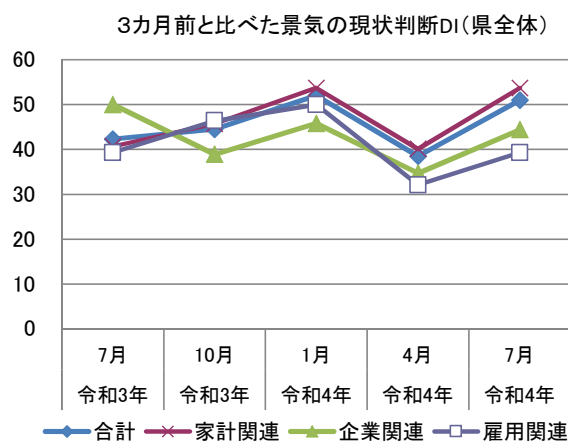
## 2. 県全体の動向

### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

#### ① D I

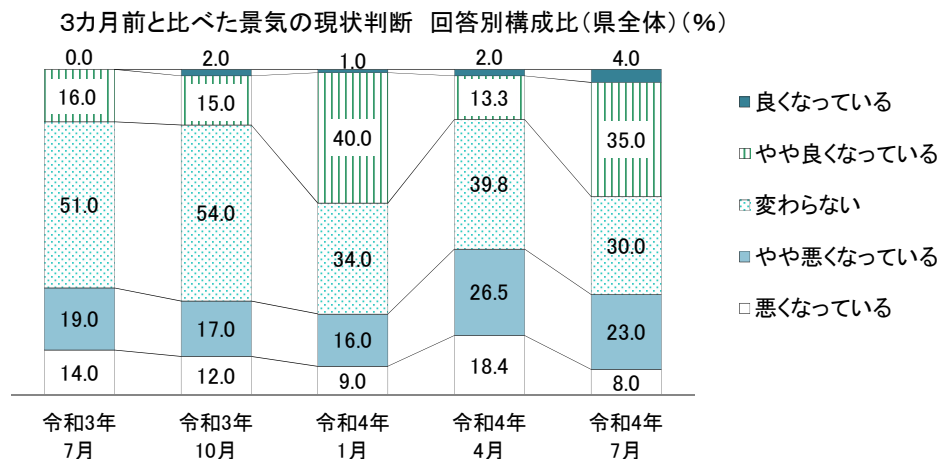
n = 100

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
合計	42.3	44.5	52.0	38.5	51.0	12.5
家計関連	40.7	45.7	53.7	40.1	53.7	13.6
小売	39.2	44.2	49.2	40.8	49.2	8.4
飲食	35.4	43.8	56.3	27.3	60.4	33.1
サービス	43.5	44.4	59.3	44.2	58.3	14.1
住宅	45.8	62.5	45.8	41.7	41.7	0.0
企業関連	50.0	38.9	45.8	34.7	44.4	9.7
雇用関連	39.3	46.4	50.0	32.1	39.3	7.2



#### ② 回答別構成比 (%)

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	2.0	1.0	2.0	4.0	2.0
やや良くなっている	16.0	15.0	40.0	13.3	35.0	21.7
変わらない	51.0	54.0	34.0	39.8	30.0	▲ 9.8
やや悪くなっている	19.0	17.0	16.0	26.5	23.0	▲ 3.5
悪くなっている	14.0	12.0	9.0	18.4	8.0	▲ 10.4



(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 100

	令和3年 10月	令和3年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
合計	53.3	63.3	47.8	50.3	47.0	▲ 3.3
家計関連	53.3	64.7	49.0	52.4	49.7	▲ 2.7
小売	48.3	62.5	50.8	50.8	48.3	▲ 2.5
飲食	64.6	68.8	41.7	56.8	56.3	▲ 0.5
サービス	58.3	68.5	49.1	57.7	52.8	▲ 4.9
住宅	33.3	50.0	54.2	29.2	29.2	0.0
企業関連	52.8	55.6	38.9	40.3	37.5	▲ 2.8
雇用関連	53.6	67.9	57.1	53.6	42.9	▲ 10.7

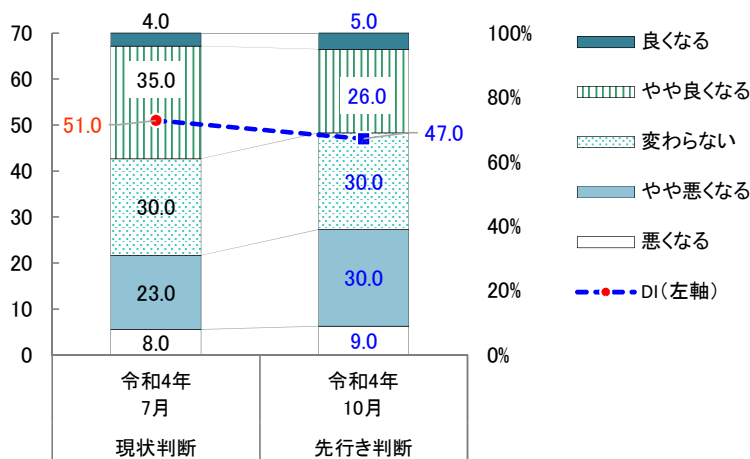
③ 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 令和4年 7月	先行き判断 令和4年 10月	差
合計	51.0	47.0	▲ 4.0
家計関連	53.7	49.7	▲ 4.0
小売	49.2	48.3	▲ 0.9
飲食	60.4	56.3	▲ 4.1
サービス	58.3	52.8	▲ 5.5
住宅	41.7	29.2	▲ 12.5
企業関連	44.4	37.5	▲ 6.9
雇用関連	39.3	42.9	3.6

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 7月	先行き判断 令和4年 10月	差
良くなる	4.0	5.0	1.0
やや良くなる	35.0	26.0	▲ 9.0
変わらない	30.0	30.0	0.0
やや悪くなる	23.0	30.0	7.0
悪くなる	8.0	9.0	1.0

現状判断と先行き判断との比較(県全体・合計)



### 3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

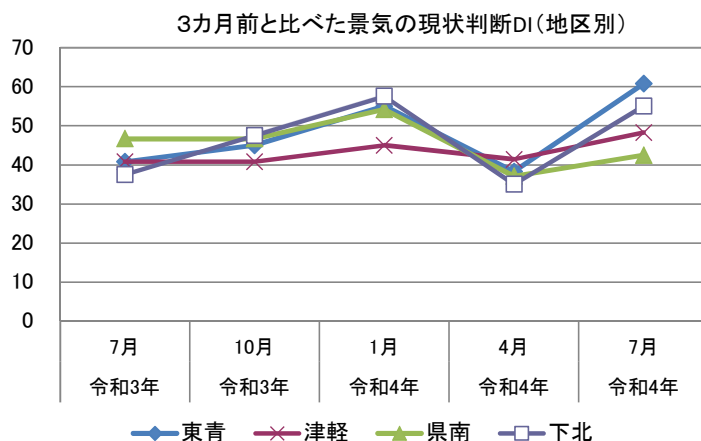
#### (1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

##### ① D I

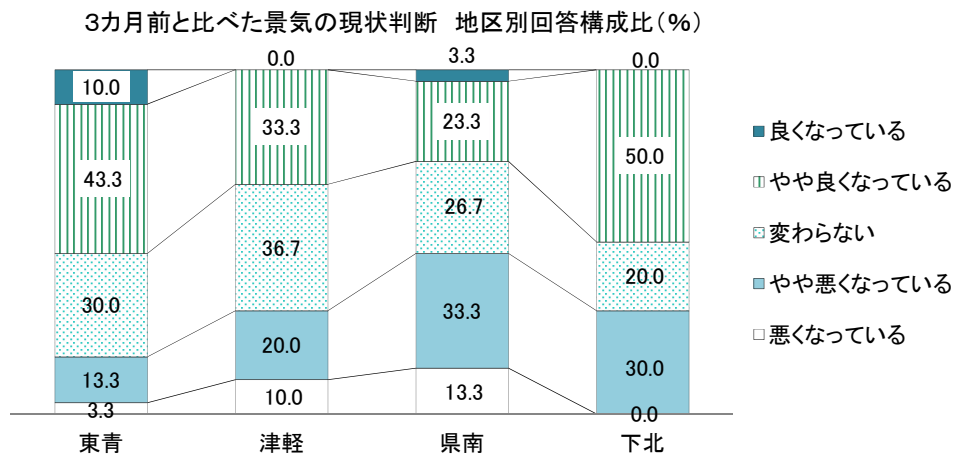
n = 100

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
合 計	42.3	44.5	52.0	38.5	51.0	12.5
東青	40.8	45.0	55.0	38.3	60.8	22.5
津軽	40.8	40.8	45.0	41.4	48.3	6.9
県南	46.7	46.7	54.2	37.1	42.5	5.4
下北	37.5	47.5	57.5	35.0	55.0	20.0



##### ②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	10.0	0.0	3.3	0.0
やや良くなっている	43.3	33.3	23.3	50.0
変わらない	30.0	36.7	26.7	20.0
やや悪くなっている	13.3	20.0	33.3	30.0
悪くなっている	3.3	10.0	13.3	0.0



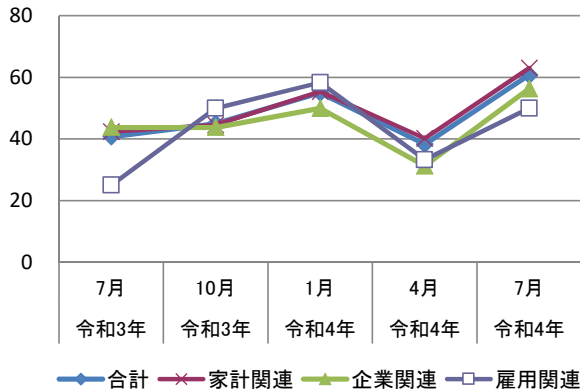
<東青地区>

① D I

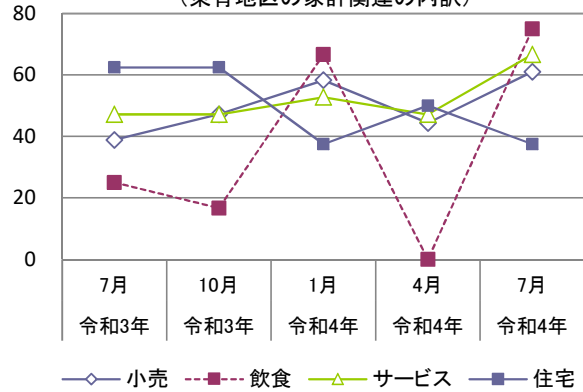
n = 30

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
合 計	40.8	45.0	55.0	38.3	60.8	22.5
家計関連	42.4	44.6	55.4	40.2	63.0	22.8
小売	38.9	47.2	58.3	44.4	61.1	16.7
飲食	25.0	16.7	66.7	0.0	75.0	75.0
サービス	47.2	47.2	52.8	47.2	66.7	19.5
住宅	62.5	62.5	37.5	50.0	37.5	▲ 12.5
企業関連	43.8	43.8	50.0	31.3	56.3	25.0
雇用関連	25.0	50.0	58.3	33.3	50.0	16.7

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



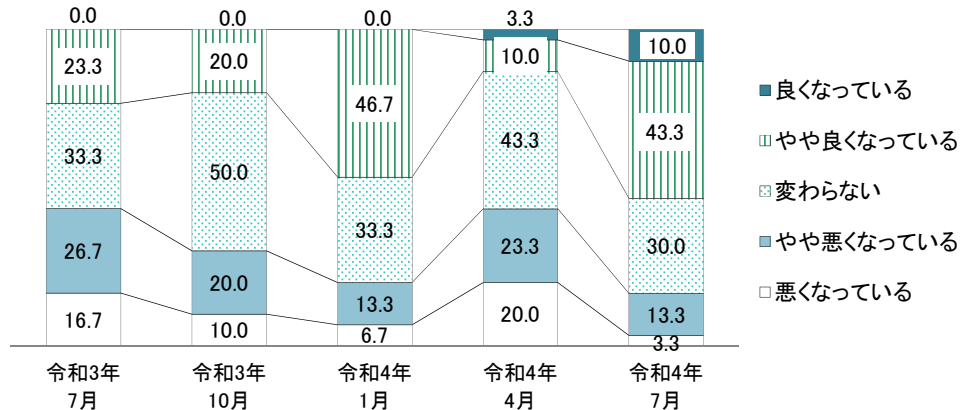
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(東青地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	3.3	10.0	6.7
やや良くなっている	23.3	20.0	46.7	10.0	43.3	33.3
変わらない	33.3	50.0	33.3	43.3	30.0	▲ 13.3
やや悪くなっている	26.7	20.0	13.3	23.3	13.3	▲ 10.0
悪くなっている	16.7	10.0	6.7	20.0	3.3	▲ 16.7

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



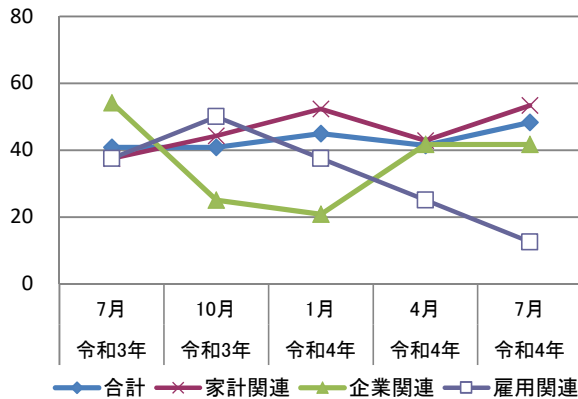
<津軽地区>

①DI

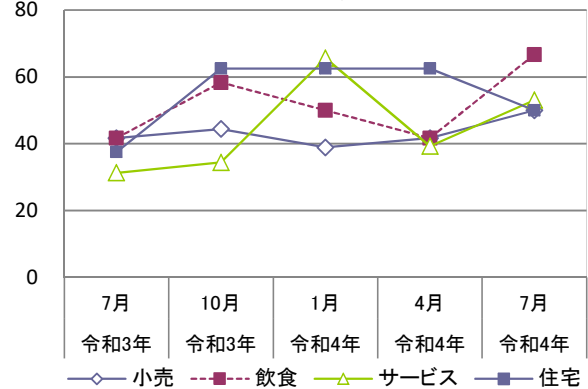
n = 30

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
合計	40.8	40.8	45.0	41.4	48.3	6.9
家計関連	37.5	44.3	52.3	42.9	53.4	10.5
小売	41.7	44.4	38.9	41.7	50.0	8.3
飲食	41.7	58.3	50.0	41.7	66.7	25.0
サービス	31.3	34.4	65.6	39.3	53.1	13.8
住宅	37.5	62.5	62.5	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	54.2	25.0	20.8	41.7	41.7	0.0
雇用関連	37.5	50.0	37.5	25.0	12.5	▲ 12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



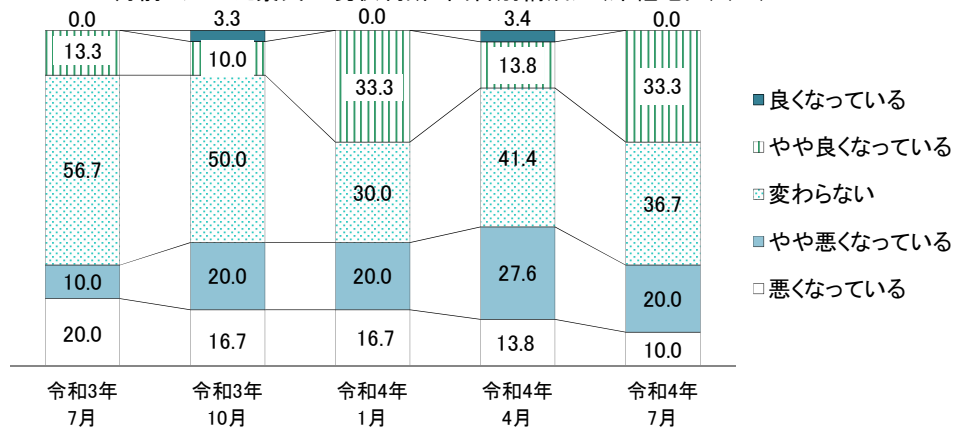
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	3.3	0.0	3.4	0.0	▲ 3.4
やや良くなっている	13.3	10.0	33.3	13.8	33.3	19.5
変わらない	56.7	50.0	30.0	41.4	36.7	▲ 4.7
やや悪くなっている	10.0	20.0	20.0	27.6	20.0	▲ 7.6
悪くなっている	20.0	16.7	16.7	13.8	10.0	▲ 3.8

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



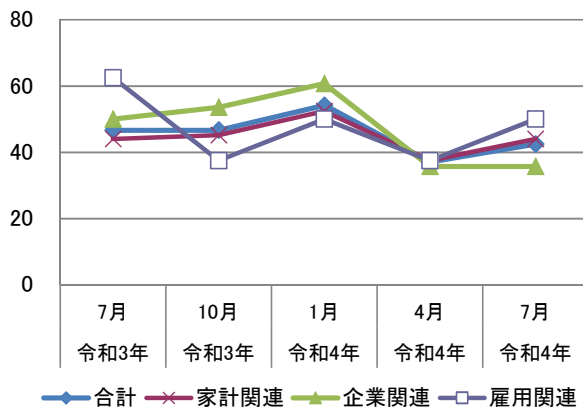
< 県南地区 >

① D I

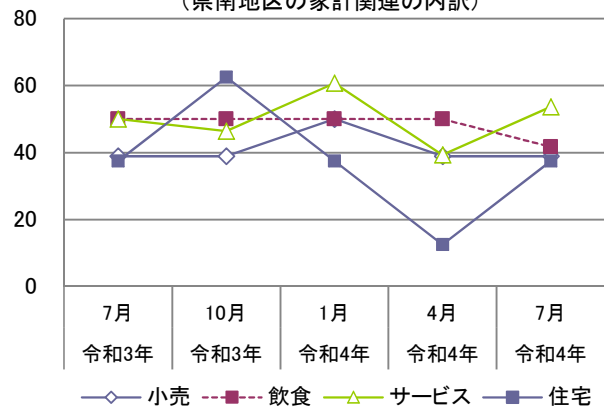
n = 30

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
合 計	46.7	46.7	54.2	37.1	42.5	5.4
家計関連	44.0	45.2	52.4	37.5	44.0	6.5
小売	38.9	38.9	50.0	38.9	38.9	0.0
飲食	50.0	50.0	50.0	50.0	41.7	▲ 8.3
サービス	50.0	46.4	60.7	39.3	53.6	14.3
住宅	37.5	62.5	37.5	12.5	37.5	25.0
企業関連	50.0	53.6	60.7	35.7	35.7	0.0
雇用関連	62.5	37.5	50.0	37.5	50.0	12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



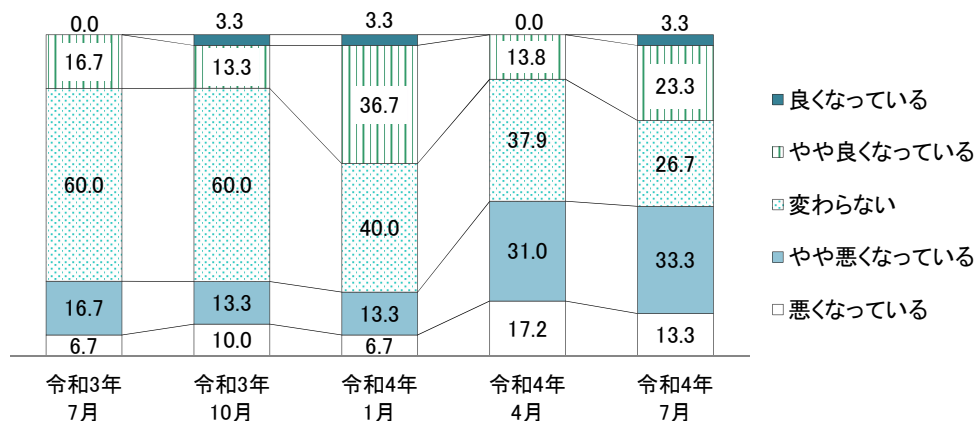
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	3.3	3.3	0.0	3.3	3.3
やや良くなっている	16.7	13.3	36.7	13.8	23.3	9.5
変わらない	60.0	60.0	40.0	37.9	26.7	▲ 11.2
やや悪くなっている	16.7	13.3	13.3	31.0	33.3	2.3
悪くなっている	6.7	10.0	6.7	17.2	13.3	▲ 3.9

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)





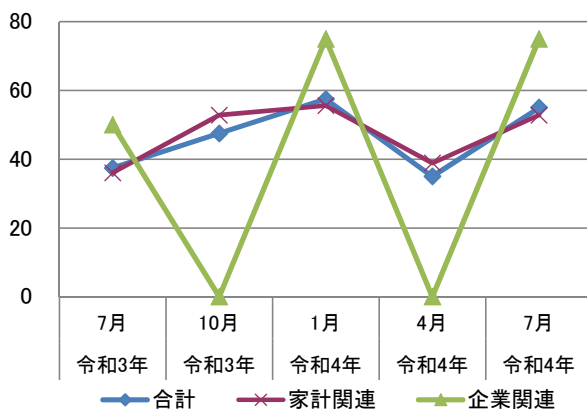
<下北地区> (参考)

①DI

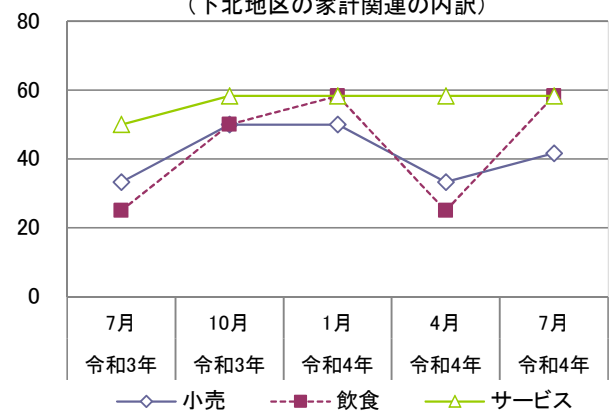
n = 10

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
合 計	37.5	47.5	57.5	35.0	55.0	20.0
家計関連	36.1	52.8	55.6	38.9	52.8	13.9
小売	33.3	50.0	50.0	33.3	41.7	8.4
飲食	25.0	50.0	58.3	25.0	58.3	33.3
サービス	50.0	58.3	58.3	58.3	58.3	0.0
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	0.0	75.0	0.0	75.0	75.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(下北地区)



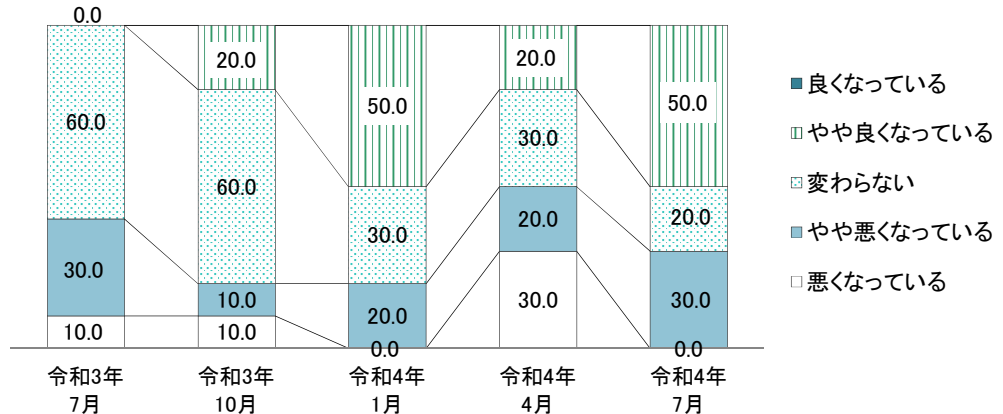
3カ月前と比べた景気の現状判断DI  
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	0.0	20.0	50.0	20.0	50.0	30.0
変わらない	60.0	60.0	30.0	30.0	20.0	▲ 10.0
やや悪くなっている	30.0	10.0	20.0	20.0	30.0	10.0
悪くなっている	10.0	10.0	0.0	30.0	0.0	▲ 30.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)(%)



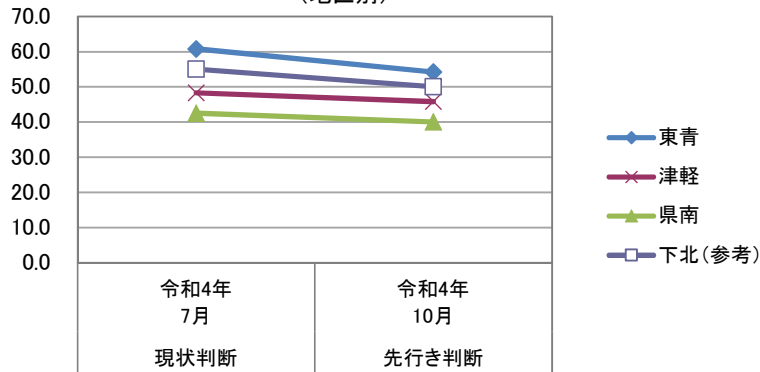
(2) 3カ月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

<地区別>

① 今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較

	現状判断	先行き判断	差
	令和4年 7月	令和4年 10月	
合計	51.0	47.0	▲ 4.0
東青	60.8	54.2	▲ 6.6
津軽	48.3	45.8	▲ 2.5
県南	42.5	40.0	▲ 2.5
下北	55.0	50.0	▲ 5.0

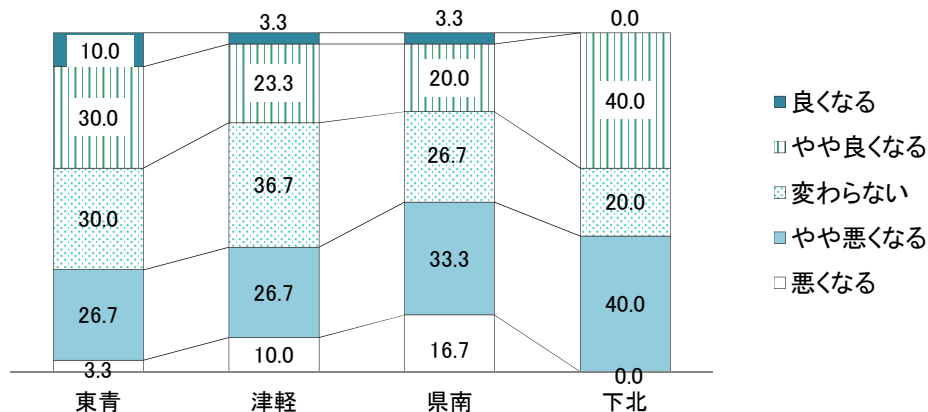
今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較  
(地区別)



② 地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	10.0	3.3	3.3	0.0
やや良くなる	30.0	23.3	20.0	40.0
変わらない	30.0	36.7	26.7	20.0
やや悪くなる	26.7	26.7	33.3	40.0
悪くなる	3.3	10.0	16.7	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 地区別回答構成比 (%)



<東青地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
合 計	47.5	68.3	50.0	53.3	54.2	0.9
家計関連	51.1	68.5	51.1	55.4	59.8	4.4
小売	44.4	66.7	61.1	58.3	69.4	11.1
飲食	66.7	75.0	50.0	66.7	66.7	0.0
サービス	55.6	75.0	41.7	52.8	52.8	0.0
住宅	37.5	37.5	50.0	37.5	37.5	0.0
企業関連	37.5	68.8	43.8	43.8	37.5	▲ 6.3
雇用関連	33.3	66.7	50.0	50.0	33.3	▲ 16.7

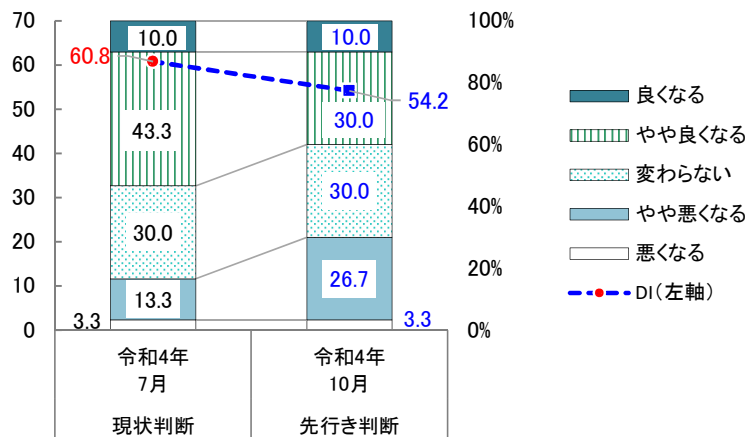
② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 令和4年 7月	先行き判断 令和4年 10月	差
合 計	60.8	54.2	▲ 6.6
家計関連	63.0	59.8	▲ 3.2
小売	61.1	69.4	8.3
飲食	75.0	66.7	▲ 8.3
サービス	66.7	52.8	▲ 13.9
住宅	37.5	37.5	0.0
企業関連	56.3	37.5	▲ 18.8
雇用関連	50.0	33.3	▲ 16.7

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 7月	先行き判断 令和4年 10月	差
良くなる	10.0	10.0	0.0
やや良くなる	43.3	30.0	▲ 13.3
変わらない	30.0	30.0	0.0
やや悪くなる	13.3	26.7	13.4
悪くなる	3.3	3.3	0.0

現状判断と先行き判断との比較(東青・合計)



<津軽地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
合計	50.0	58.3	46.7	50.9	45.8	▲ 5.1
家計関連	50.0	63.6	48.9	48.8	50.0	1.2
小売	41.7	61.1	44.4	41.7	41.7	0.0
飲食	58.3	66.7	50.0	41.7	66.7	25.0
サービス	62.5	65.6	50.0	64.3	56.3	▲ 8.0
住宅	25.0	62.5	62.5	37.5	37.5	0.0
企業関連	45.8	33.3	33.3	50.0	29.2	▲ 20.8
雇用関連	62.5	75.0	62.5	75.0	50.0	▲ 25.0

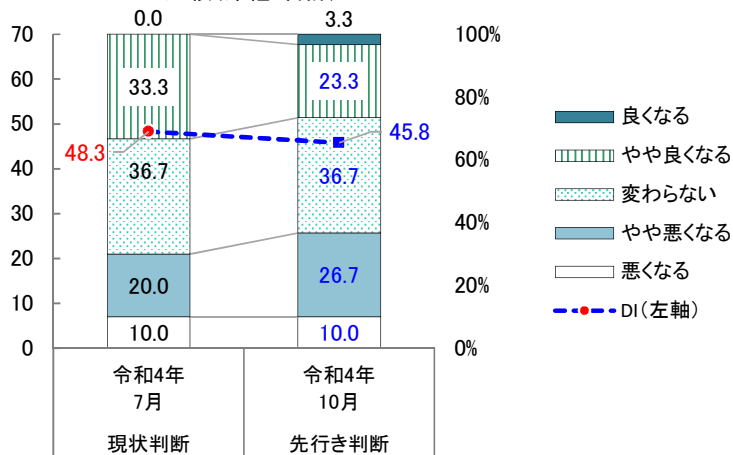
② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和4年 7月	先行き判断 令和4年 10月	差
合計	48.3	45.8	▲ 2.5
家計関連	53.4	50.0	▲ 3.4
小売	50.0	41.7	▲ 8.3
飲食	66.7	66.7	0.0
サービス	53.1	56.3	3.2
住宅	50.0	37.5	▲ 12.5
企業関連	41.7	29.2	▲ 12.5
雇用関連	12.5	50.0	37.5

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 7月	先行き判断 令和4年 10月	差
良くなる	0.0	3.3	3.3
やや良くなる	33.3	23.3	▲ 10.0
変わらない	36.7	36.7	0.0
やや悪くなる	20.0	26.7	6.7
悪くなる	10.0	10.0	0.0

現状判断と先行き判断との  
比較(津軽・合計)



<県南地区> ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 30

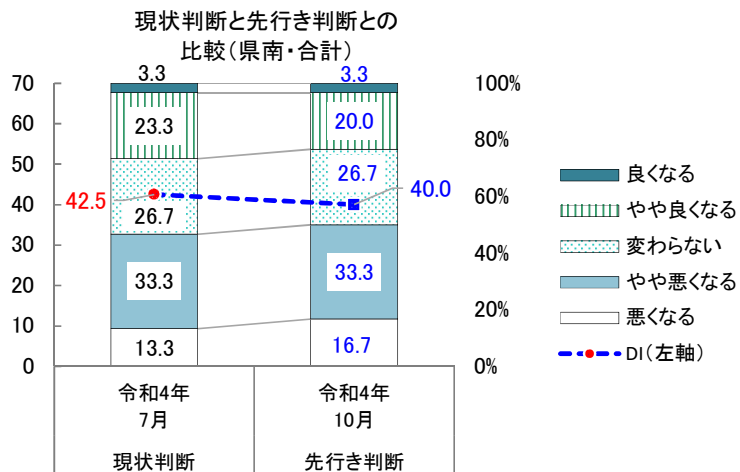
	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
合 計	60.0	65.0	47.5	43.1	40.0	▲ 3.1
家計関連	57.1	65.5	47.6	47.5	39.3	▲ 8.2
小売	55.6	63.9	52.8	50.0	41.7	▲ 8.3
飲食	66.7	83.3	25.0	62.5	33.3	▲ 29.2
サービス	60.7	64.3	50.0	50.0	46.4	▲ 3.6
住宅	37.5	50.0	50.0	12.5	12.5	0.0
企業関連	64.3	64.3	42.9	32.1	39.3	7.2
雇用関連	75.0	62.5	62.5	37.5	50.0	12.5

② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 令和4年 7月	先行き判断 令和4年 10月	差
合 計	42.5	40.0	▲ 2.5
家計関連	44.0	39.3	▲ 4.7
小売	38.9	41.7	2.8
飲食	41.7	33.3	▲ 8.4
サービス	53.6	46.4	▲ 7.2
住宅	37.5	12.5	▲ 25.0
企業関連	35.7	39.3	3.6
雇用関連	50.0	50.0	0.0

・回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 7月	先行き判断 令和4年 10月	差
良くなる	3.3	3.3	0.0
やや良くなる	23.3	20.0	▲ 3.3
変わらない	26.7	26.7	0.0
やや悪くなる	33.3	33.3	0.0
悪くなる	13.3	16.7	3.4



<下北地区> (参考) ※表及びグラフでは各調査期の3カ月後の月で表記

① D I

n = 10

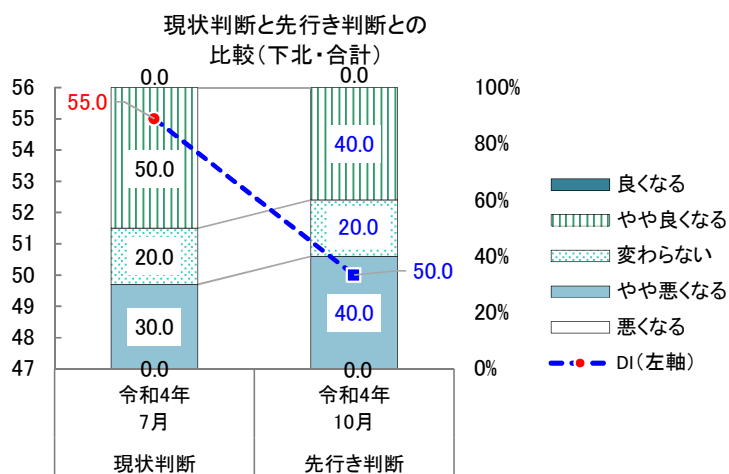
	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	令和4年 10月	前期調査 との差
合計	60.0	57.5	45.0	60.0	50.0	▲ 10.0
家計関連	58.3	55.6	47.2	63.9	47.2	▲ 16.7
小売	58.3	50.0	33.3	58.3	25.0	▲ 33.3
飲食	66.7	50.0	41.7	58.3	58.3	0.0
サービス	50.0	66.7	66.7	75.0	58.3	▲ 16.7
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	75.0	25.0	25.0	75.0	50.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 令和4年 7月	先行き判断 令和4年 10月	差
合計	55.0	50.0	▲ 5.0
家計関連	52.8	47.2	▲ 5.6
小売	41.7	25.0	▲ 16.7
飲食	58.3	58.3	0.0
サービス	58.3	58.3	0.0
住宅	-	-	-
企業関連	75.0	75.0	0.0
雇用関連	-	-	-

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 令和4年 7月	先行き判断 令和4年 10月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	50.0	40.0	▲ 10.0
変わらない	20.0	20.0	0.0
やや悪くなる	30.0	40.0	10.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0



#### 4. 判断理由

##### (1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	東青	観光名所等	来館者の増加。
			商店街	観光やビジネスでの県外客が5月の連休を境にどんどん増えている。新幹線も満席に近い状態が復活しつつあり、駅も混雑がみられる。暑さが早かったので夏物の動きも活発で早く、プレミアム券の後押しもあって消費マインドは好調に感じる。
			都市型ホテル	青森県お出かけキャンペーンの延長、ブロック割への拡大により東北一円のビジネス需要が高まっている。
		県南	旅行代理店	修学旅行などの学校行事が戻ってきている。
やや良くなっている	家計	東青	卸売業	飲食店向けの商品の受注が多くなっている。
			一般飲食店	比較的に3カ月前よりは人が動いてきているのですが未だ安定して客数が毎日あるという状態ではありません。コロナ、物価高いろいろな難題が多い。
			一般小売店	GWから初夏に向けて、それ以前と比べ明らかな人流増が見られるから。心配されたGW後の感染者増もさほどではなく、旅行や会合、飲食などでコロナ前と変わらない社会活動が戻ってきている。
			観光型ホテル・旅館	主にGW期間前後から、観光の宿泊が増えてきた。県民割の延長の効果は大きい。
			レストラン	ドン底は脱したのかな?
			旅行代理店	仕事の量が増えてきて数字も上ってきている。
			娯楽業	若干ではあるが4月に入りお客様の戻りを感じます。
			百貨店・スーパー	コロナ対策規制緩和による社会行事、催事の再開、観光業界回復の兆し。
			衣料専門店	コロナ騒動前と比べると全く良くないですが、昨対比を見ると上向き傾向です。当市はプレミアム商品券等で消費を刺激していますし、夕刻の商店街の人通りも増えていきますし、来店者の顔色も良いです。嬉しい。
		スナック	相変わらず厳しいですが、ようやく人出が多少なりと出て来ました。ただコロナ禍が心配です。個人で注意するだけです。	
		津軽	商店街	街に人(地元の人も観光の人も)が増えた。ウイルスの重症化率も減っているから。
			旅行代理店	旅行に行かれる方が増えている。
			観光型ホテル・旅館	青森おでかけキャンペーン実施により。
			レストラン	観光客が利用する様になったため。
			一般小売店	1~3月は前年比でかなり悪かったが、4~6月は前年より少しだけ良くなったので。
			衣料専門店	結婚式、会議、総会、会合などをする様になってきた。
		県南	レストラン	県外からのお客様がふえている。
			衣料専門店	様々なイベントなどが再開されるようになり、多岐にわたる商品の需要が増えてきている。
			住宅建設販売	物価は上がっているが受注金額が伸びている。

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	県南	卸売業	少しずつ注文が増えてきていると感じる。
		下北	百貨店・スーパー	ワクチン接種等でコロナ禍の影響が薄れ外出する機会が増加による消費。
			ガソリンスタンド	ホテル等での会合が段々増えてきました。宿泊者も増加し、予約を取るのが大変になって来ているようです。また、飲み屋でも混んできているという話を聞くので。
			タクシー	食品・消耗品等、生活に関わる物の値上げで苦しい所もありますが、学校・社会の活動が活発になり、イベントや人の流れも戻ってきていて活気があり、自由になるお金をやりくりして楽しんでいるように思えるから。
	企業	東青	経営コンサルタント	新型コロナウイルス対策による行動制限が緩和され、5月の連休は県内の飲食業・宿泊業は、コロナ禍前の9割近くまで回復があった事があげられるが、依然として、半導体不足、石油関連・穀物関連は値上がりが続いているため予断を許さない。
		津軽	経営コンサルタント	会食の機会も多少増えているし、夜の繁華街にも人手が多少戻ってきている。弘前では特に若い人たちの夜の飲食店の利用が増えてきているし、タクシーも（絶対数が少ないのだが）つかまりにくくなっている。
		県南	飲料品製造	会合の懇親会なども徐々に開催されるようになり、ホテル、飲食店なども積極的に営業活動も再開、徐々に夜の町にも人が出始めた。
		下北	食料品製造	値上げラッシュではあるが、それ以上に過去2年、この時期にはなかった人の往来がある。
	雇用	県南	新聞社求人広告	少しずつだがイベント等が復活して来ているため。
	変わらない	家計	東青	美容院
コンビニ				物価が高くなっている為。
設計事務所				地球規模での変動の影響は業種や職業に関わらずダメージを受けております。一律の見方はできませんがこの地域でさえも日用物価の値上がりは生活に直結して全てに覆いかぶさっております。
津軽		設計事務所	予定している建築計画をこれ以上先延ばしできないという方もいるのではないのでしょうか。出口の見えない資材の高騰状況ですので今のうちにといい気持ちはあると思います。	
		観光名所等	つい、2019までと比較してしまいます。当事業所は、通年を通して行事は勿論、すべて影響をうけている。今年の桜祭りは過去1度しか経験したことがない早咲きと、コロナで昨年同様、入園時の検査など今年も静か。恒例の桜祭り時の大型バスターミナル利用は不要でした。来訪者はいまだ回復していない。毎年の修学旅行などの団体客が4月と比較して少ない。	
		娯楽業	特に変わっていないので。	
		乗用車販売	新車購入の買い控えにより受注が回復しない。	
		ガソリンスタンド	燃料・食品等の販売価格が値上げに転じており、消費者が買い控えている状況である。	
		住宅建設販売	建築資材の価格高騰により、買い控え、様子を見る動きも出て来た。来年少くとも新築計画を延期する動き。	



現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	県南	タクシー	一時期は良くなるのかなと言う期待を持ったけれども、全く期待外れ。県南地区はコロナ患者が減らない。あっという間にコロナ患者が増えだしてどこにも行けない。繁華街は淋しくなった。人影がまばらになった。
			美容院	来客の会話や買物などの印象からあまり変化は感じられない。
			一般飲食店	景気は良くなりそうな気配はするが、コロナが減ったと思うとまた増加し、また、自粛ムードになったり、天候変化が著しく暑すぎたり、急に寒くなったりマイナス要因が抜けきらない感がある。なんと言っても物価上昇、利益がない中消費税だけはしっかり要求される。これが一番の負担、ますます疲弊する。結果撤退せざるを得ない状態になるかも。
			観光名所等	客入数、売上共に大きな変化はみられない。
			コンビニ	人手不足、コロナ何も変わっていない。
		下北	一般飲食店	コロナの影響はあるし、物価は上がるし良くなる要素がみあたらない。
	企業	津軽	広告・デザイン	物価高に対しての給与が変わっていないため、家計を圧迫しているのがみてとれる。お付き合いのある企業様も飲食店等は多少賑わっているように見えるが、その実、コロナ対策補助金がなくなってしまったからこそ苦しくなっている面もある。よくなっているよりかわらない、むしろ悪くなっていると感じている。
			電気機械製造	特に大きな変化が見られない。
		県南	紙・パルプ製造	新型コロナウイルスの感染再拡大とロシア侵攻問題、円安による物価高の影響。
			経営コンサルタント	宿泊観光、飲食業は、県の宿泊キャンペーン等により、回復傾向にあるが、原材料価格、エネルギー価格の上昇がすべての業種に大きな影響を及ぼしている。
			広告・デザイン	円安、ウクライナとロシアの戦争と、コロナがおちついてきたところに新たな要因があり、経済が安定しない。また、長いコロナの影響が尾を引いて、コロナがおちついたから急に仕事が増えたということはない。
		雇用	東青	人材派遣
新聞社求人広告	新型コロナウイルス感染の収束がまだ確かなものになっていないので経済の回復に勢いがつかない。また燃料高騰による負担増、各種商品の値上げ実施や値上げ予告が相次ぎ、消費行動を抑える方向に進んでいる。			
やや悪くなっている	家計	東青	住宅建設販売	木材、建築資材高騰、すべての物価が上がりつづけており住宅が高く、すぐに決めることが難しいから。
			百貨店・スーパー	食品、ガソリン、電気料の値上げ、高騰もあり、食費に使えるお金が減っている。お客様の買い上げ点数が落ち込んでいる。
			タクシー	せっかくコロナ禍も落ち着いてきたかのように見えた昨今ではありましたが、こここのところまた再び感染者の増加がメディアなどで取り上げられると、地元の人たちはまた再び家に引きこもり気味になってしまっていることや、やはり夜の街も以前よりは自由に出歩いてはいるものの家に帰る時間もやや早めで深夜までタクシーを走らせてもそれほどまでには売上も向上しないからです。
		津軽	卸売業	物価高のため仕入値が高騰。
	美容院		物価高や値上げラッシュの影響で財布の紐が固くなったように感じる。	

現状	分野	地区	業種	理由	
やや悪くなっている	家計	津軽	都市型ホテル	仕入価格の上昇が止まらないため。	
			コンビニ	客数が減っている。	
			百貨店・スーパー	物価の上昇に対して、お客様の買上点数の減少と客単価の低迷。	
		県南	商店街	コロナ禍の上に、更に生活に密接な食品や光熱費等が値上がりし、下がる見込みがないから。	
			娯楽業	多方面の値上げ、自由に使えるお金が減っている。週別の来店客数の差が目につく。	
			百貨店・スーパー	値上があらゆる部分に影響を及ぼし、節約志向に拍車がかかっている。	
			一般小売店	4月、5月(6月)とコロナ禍の前年比を下回っている。	
			百貨店・スーパー	収まらない新型コロナウイルスの陽性者数、物価の上昇、電気料金の上昇、ロシアによるウクライナ侵攻が終わらずに、世界経済色んな面で良くない影響が出ているため。	
			ガソリンスタンド	燃料費高騰、物価上昇が顕著となり、企業は設備投資に慎重になり、個人消費は下押し圧力が強まっている。	
			家電量販店	燃料、電気料の値上げ、食材の値上などで購売意欲が上昇しないように見られる。また、上海ロックダウンにより入荷遅れ商品等の影響あり。	
		下北	乗用車販売	コロナ禍の影響が緩和され、行動制限が一部解除されて来ているが、海外情勢の不安定が継続されており、その影響がガソリン高にはじまり、食品・生活用品にまで顕著に表れてきて、消費者の購買意欲が低下している。	
			コンビニ	コロナがまた感染が広がってきた。	
			都市型ホテル	やや終息に向かうかと思われた新型コロナウイルス感染症が、ここにきてまた拡大しだし人の動きに影響を与えている。	
			東青	建設	物価高騰により「原価」が上がりすぎている。お客様の事業計画に支障が出てきている。
企業	県南	電気機械製造	鉄・ステンレス・銅など素材価格の高値、欧米の利上げによる工場投資の縮小見通し。		
		雇用	津軽	人材派遣	私たちが生活する上で必要不可欠な、電気料金、水道料金、ガス料金等の水道光熱費、そして食料品までもが高騰し生活を圧迫している。
悪くなっている	家計	東青	家電量販店	世界情勢の変化に伴うエネルギー価格の高騰により、物流費をはじめ多方面で物価上昇の動きが活発化しております。消費者の生活においてはガソリン代や光熱費、日用品や食品を中心とする値上げが連日報道されており、消費を抑え込む結果となっております。	
			県南	設計事務所	収入は増えず、物価は大きく上昇している。
		スナック	コロナがふえている。		
	企業	県南	津軽	食料品製造	物の値上り。
			建設	コロナも落ち着いて行動制限も緩和されたことで少し回復の兆しが見えていたが、円安の影響で生活用品、食料品、ガソリンなど生活の必需品がすべて値上がり。様々な費用を削っても生活できないレベルまで達してきた。	
			食料品製造	全てのコストが急上昇。	
	雇用	津軽	新聞社求人広告	光熱費や食料品等の値上がりで個人消費が落ちていて、外食や観光産業に影響している。	

## (2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	卸売業	ねぶた祭り等の夏の行事を行うことによって消費動向に良い影響を与えると思う。
			一般小売店	祭り、お盆、夏休み。コロナの脅威が薄れつつある今、「3年ぶりの〇〇」が景気を押し上げる。
			都市型ホテル	3年ぶりのねぶた祭開催や、県民割の全国拡大により、団体ツアー需要の高まりが期待できるため。
	企業	県南	飲料品製造	コロナ禍の中でもイベントなどでのPR活動なども再開されるようになり、大勢での飲食を含む集まりなども抵抗が薄れつつある。また多くの夏祭りが完全な形でないものの今年は開催される様相で、観光客なども増えてくるだろう。
やや良くなる	家計	東青	コンビニ	これから夏祭りがはじまり県外からのお客様が増えてきそうだからです。
			一般飲食店	日常の色々なこと、例えばコロナ、物価高も時間が経つことで人は多少慣れていきます。その中でいろいろこれまで我慢してきたことをやめていくだろうと思って考えています。
			観光型ホテル・旅館	青森ねぶたが予定通り開催される心理的効果は大きく、夏休み時期の予約も比較的順調に増えている。あとは、団体客と外国人客が戻れば例年並みと言えるのだが、そこはこれからの期待。青森県の積極的かつ迅速な施策実施をお願いしたい。他県に比べ出遅れ感をいつも感じる。
			百貨店・スーパー	コロナ第7波の状況、規制次第。
			観光名所等	予約状況より。
			衣料専門店	さくら祭り、あおもり桜マラソン、ねぶた祭等などが開催、予定され人の動きが活発になっています、政府報道も人混み以外でのマスク規制を緩和しています、人々の顔色が良くなっていることから景気浮揚を疑っていません。
			レストラン	ねぶたも復活するので期待はしたい。
		津軽	商店街	ねぶた、各商店街のイベントもあるから。
			観光型ホテル・旅館	GoTo全国版がスタートすることに期待。
			旅行代理店	国の新型コロナウイルスに対する対応次第。
		娯楽業	少しずつコロナの影響が落ち着いてきたが、完全に元に戻るとは思えないから。	
		衣料専門店	少しずつwithコロナになってきている。	
		県南	衣料専門店	さらに行動制限やイベントに関する制限等が緩和されて、様々な需要が増えていく。
	タクシー		コロナ、コロナと騒いでばかりいてもどうにもならない。皆さん、それなりに防御方法を考えて頑張るだろう。いつまでもコロナのせいにしてられない。急に飛躍しなくても少しずつ頑張るよりないだろう。参院選も終わったんだから、今度は我々が頑張らなければ。	
	美容院		選挙後の政策実行により、多方面への好印象のさざしを感じます。	
	卸売業		今現在少しずつ良くなっていると感じるのでこのまま続くと思う。	
	旅行代理店		コロナ感染対策が更に日常のこととして身につく、適正な対策をして旅行・食事・イベントへ出掛けようという意識になる。	

先行き	分野	地区	業種	理由	
やや良くなる	家計	下北	タクシー	国や、市町村の施策を期待しているのと、円安の影響もよし悪しがあり相殺ぐらいになるのでは?と思う。	
			ガソリンスタンド	夏祭りを縮小して行うようなので、良くなると思います。コロナ禍以降初めて帰省する人も多いのではないのでしょうか!?このまま落ち着けばの話ですが!	
	企業		食料品製造	7月末~8月中旬の各地の祭り、お盆にかけて相当数の観光客、帰省客が見込まれる。	
	雇用	津軽	新聞社求人広告	夏祭りや盆帰省、秋の行楽と人の動きに期待したい。	
県南		新聞社求人広告	感染対策を十分にし、イベントや売り出しを出来る雰囲気になってきているため。		
変わらない	家計	東青	商店街	5月からの流れのままであれば、もう少し景気が回復していくように思うが、原油高、円安の影響、コロナの再拡大による影響が無視できず、景気の状態はそれ次第と思われるので、実際は「わからない」が正しいが、一応「変わらない」とした。とくに、ねぶた祭りの前の非常に急激な感染状況拡大が、祭り本番を過ぎてどのように向かうかしないで、せっかくウィズコロナでの景気維持基調に動き始めた人々の流れに大きく水を差すのではと懸念している。	
			美容院	3ヶ月後とは8月に入るので人が動く時期です。その後はまたもとにもどるのではないのでしょうか。	
			旅行代理店	コロナで先行が見通せない状況だ。	
			娯楽業	お客様の戻りに力強さを感じられない。	
			スナック	見当が付きません。私達スナックは期待しておりません。	
			設計事務所	短期的には急激な落ち込みがない事を望みますが明らかにじわじわ厳しさが増してくるようになります。この地域においても平穏無事に早急に経済活動の成果が推移する事を望みます。	
			家電量販店	コロナの感染状況が落ち着いてきていることで外出や帰省に係る消費は以前より増しておりますが、ガソリン代や光熱費等は今年度いっぱい高止まりの傾向が続くと報道もされており、全体としては回復の兆しは現時点では見受けられないと判断します。	
			津軽	観光名所等	コロナ発生がまた増加傾向で、国や県の対応が大きく影響する。7月前半の状況次第。
				乗用車販売	世界的なコロナの影響が今後も続くと思われる。
				レストラン	少し良くなりつつあるが、本日現在でコロナ感染が増えているため。
	ガソリンスタンド	政策の行方次第であり、今後の見通しは不透明である。			
	住宅建設販売	今の所、上昇も下降も、急激な変化はないと思います。但し、衣食住、生活に影響が出て来ていることが確実なので景気下降の方向が強い。			
	スナック	また、コロナの感染者が増えると思うから。			
	衣料専門店	コロナ禍が継続しているから。			
	県南	観光名所等	3カ月で、景気の上向きにつながる様子がない。		
		百貨店・スーパー	当市のコロナ増加が気になるが、GWでの帰省が上向いた点で、お盆の客数増は期待したい。		
		一般飲食店	やはり、コロナが減少しない。多すぎる状態が続いているため危機感が払しょく出来ない様子。円安もドンドン加速し物価上昇。先の事が読みづらい。油断はできないのではないかと。		
		家電量販店	参院選後の動向によって変化は予想されますが不透明。		

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	県南	レストラン	コロナ第7波。キャンセルが多くなっている。
		下北	一般飲食店	お客様の出足もよくなりかけている所へコロナの第7波?かな。また、テレビなどで増加しているというニュースで閑古鳥です。
	企業	津軽	広告・デザイン	補助金等での施策はあるが、物価高、円安での高騰、そういったものが是正されない限りは循環は生まれないと考える。
			経営コンサルタント	4回目の予防接種も今月から始まっているが、予断を許さない。このまま景気が戻って来ることを期待したい。
		県南	広告・デザイン	長いコロナでの影響で耐え忍んできたが、資金繰りが大変で、今後、やっていけるか…?不安が多い。
			紙・パルプ製造	新型コロナの感染再拡大による自粛や物価高の影響が続く。
	雇用	東青	新聞社求人広告	コロナ感染者が、なかなか減少しない。三社大祭等、夏祭りの自粛。原材料価格の上昇が継続している。
やや悪くなる	家計	東青	ガソリンスタンド	物価が上昇し、出費を抑える傾向になると思う。
			住宅建設販売	物価の上昇がおさまるまでは、買い控える顧客が増加すると思われるため。
			百貨店・スーパー	食品、電気料値上げの影響により、必要以上の買い物はしない傾向がさらに高まると考えています。
			娯楽業	物価の値上げの影響が悪い方向に作用する。
			タクシー	あくまでも今までの悪い状態だったことを前提に、それよりも更に「やや悪くなる」と回答させていただきます。
	家計	津軽	設計事務所	新型コロナで建築計画を延期していた状況でようやく落ち着いてきたところに戦争がはじまり建築資材が記録的な値上がりです。ここ数月は受注が多かったものの値上がりの状況によってはまた計画を見直すということになる気がします。
			コンビニ	コンビニエンスストアにおける客層に対しては悪い方向が続いている。値上げ等。
			百貨店・スーパー	物価上昇のため。
			一般小売店	4月・5月は前年に比べ2桁アップであったが、6月は前年に比べマイナスであったことや、コロナ第7波の影響があるため。
			都市型ホテル	仕入価格の上昇が止まらないため。
			美容院	ウクライナ情勢の影響が出るのがその頃とされているので!
			企業	県南
	ガソリンスタンド	燃料・食料は地政学的リスクから、高値基調は当面続くものと思われ、個人の可処分所得の大きな改善は見込めないことから。		
	一般小売店	コロナの終息が未だに見えて来ない中、原油関連(ガソリン等)価格の高どまりや、ロシアのウクライナ進軍による食料品の値上げ等、マイナスの話題しかない。		
	住宅建設販売	物価上昇に給与が追いついていないため、今後は厳しいと思われます。		
	乗用車販売	新型コロナ感染拡大傾向・半導体不足・部品調達遅れ等で、自動車の需給バランスが崩れており、回復の兆しが表れていない。		



先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	県南	商店街	新型コロナ感染者がまた増加傾向にある上に、物価が更に上がりそうだから。
			コンビニ	コロナ第7波、電気、燃料高・物価高。
		下北	都市型ホテル	やはり、一にも二にもコロナウイルス感染症次第ですが、第7波の影響でこの先の3ヶ月は回復に歯止めがかかると思う。
			コンビニ	マスコミで不安をあおりすぎ。
			百貨店・スーパー	円安等の影響を受け値上げラッシュが続くため。
	企業	東青	建設	物価の高騰が続くため。
		津軽	電気機械製造	ウクライナ情勢・新型コロナウィルス・半導体不足・円安による物価上昇等々により先の見通しが付かない状況にある。
		県南	電気機械製造	素材価格は結局輸入物価であり、この円安では数ヶ月後にますます上昇し、原価を押し上げるだろう。
	雇用	東青	人材派遣	BA5株の感染拡大により、観光・飲食等客足が鈍りそう。
		津軽	人材派遣	私たちが生活する上で必要不可欠な、電気料金、水道料金、ガス料金等の水道光熱費、そして食料品の高騰はまだまだ続くとみられる。一方収入は新型コロナの更なる増加で、増えるどころか更に減少もありダブルパンチ。このような状況で政府の対策を期待したいところだが、今のところこれといった対策はない。
悪くなる	家計	津軽	百貨店・スーパー	生活に欠かせない灯油・ガソリンの高値水準、また食品合体の値上傾向、また企業全体における給料の上昇が見えて来ないので!(他社を見ての感想)
			設計事務所	戦争が終わるか、原子力発電所の再始動までは悪い。
		県南	スナック	コロナがふえている。
	企業	東青	経営コンサルタント	20年ぶりの超円安が続き、物価上昇を余儀なくされており、コロナウイルス感染も第7波が危惧され、ロシアのウクライナ侵攻を背景にしたエネルギー高騰は収束の見えない状況が続いている。今後の景気を良くする材料は、青森県にとってかなり少ないと考えられる。
		津軽	食料品製造	ウクライナの戦争が終わらない限りどんどん悪くなる。
			建設	ロシアによるウクライナ侵攻は、いつまで続くのか、物の値段がどんどん上昇している。我々の生活はこれからどうなるのか、不安でたまらない。元首相が選挙の応援演説に行き銃で殺害された。こんな世の中おかしい。日本にとって大事な人を失った。ご冥福をお祈り申し上げます。
		県南	食料品製造	物価上昇による消費の低迷。
			建設	ウクライナとロシアの戦争は終息の兆しが見えておらず、穀物などの農産物や原油高騰はすべての産業に影響を及ぼし、あらゆる商品がかつてないほどの上昇幅で値上げされてきている。今後も様々な商品や製品の値上げのアナウンスがされており、景気が良くなる好転因子は全くという程見当たらない。仮に戦争が収束しても一度値上げした商品価格は元に戻らないと思うので、このまま数年先まで同じ苦境が続くことになるだろう。更にコロナの第7波が到来が宣言されたことで益々景気後退へと進むことになる。

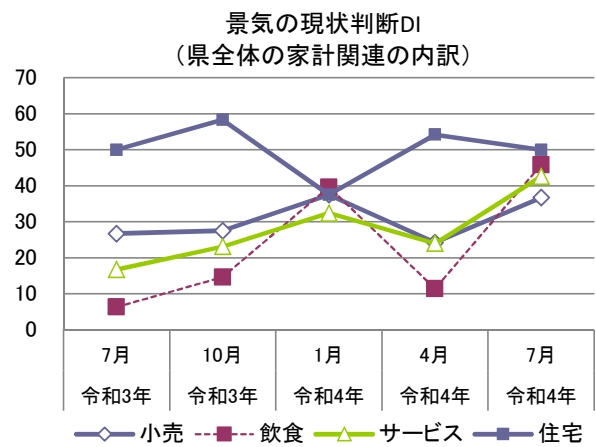
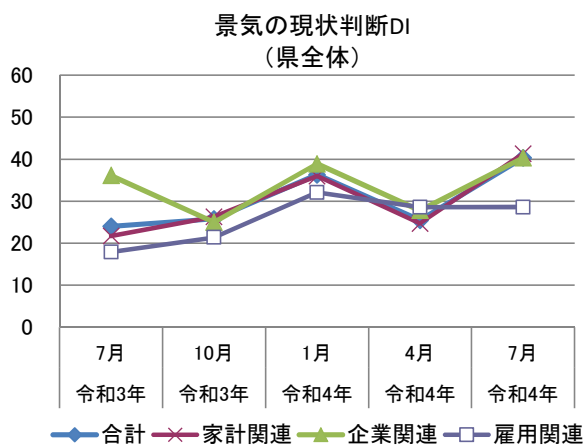
## 5. 参考

### (参考1) 景気の現状判断

#### ① D I

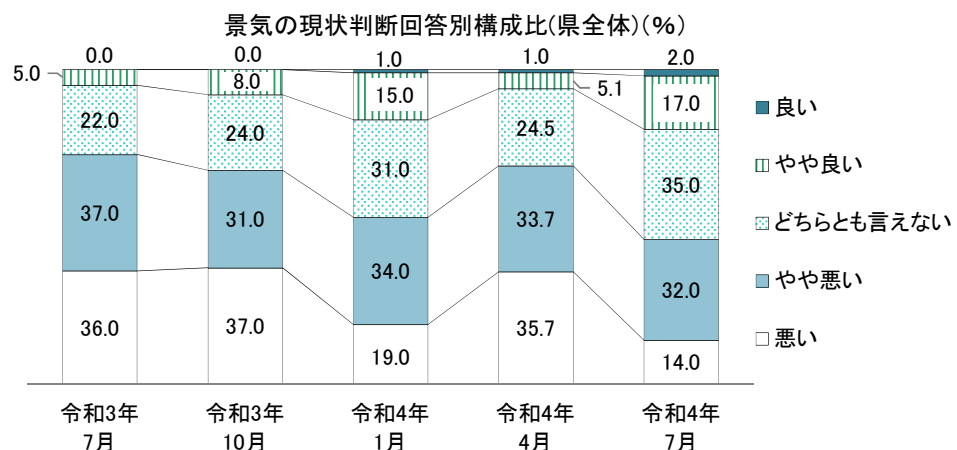
n = 100

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
合計	24.0	25.8	36.3	25.5	40.3	14.8
家計関連	21.7	26.3	36.0	24.7	41.3	16.6
小売	26.7	27.5	37.5	24.2	36.7	12.5
飲食	6.3	14.6	39.6	11.4	45.8	34.4
サービス	16.7	23.1	32.4	24.0	42.6	18.6
住宅	50.0	58.3	37.5	54.2	50.0	▲ 4.2
企業関連	36.1	25.0	38.9	27.8	40.3	12.5
雇用関連	17.9	21.4	32.1	28.6	28.6	0.0



#### ② 回答別構成比 (%)

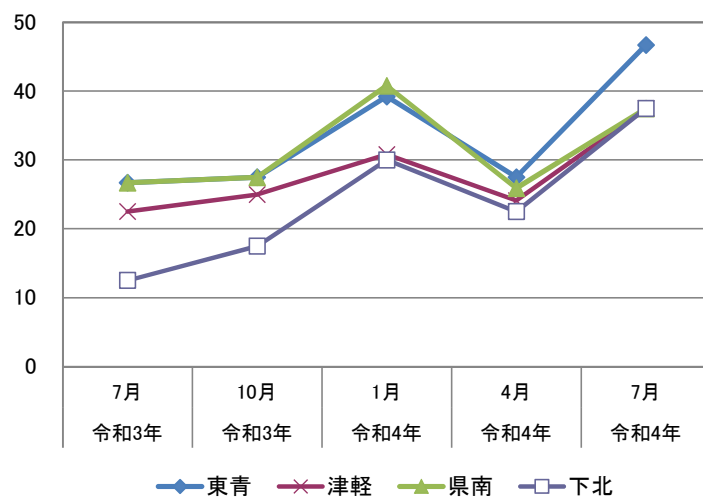
	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
良い	0.0	0.0	1.0	1.0	2.0	1.0
やや良い	5.0	8.0	15.0	5.1	17.0	11.9
どちらとも言えない	22.0	24.0	31.0	24.5	35.0	10.5
やや悪い	37.0	31.0	34.0	33.7	32.0	▲ 1.7
悪い	36.0	37.0	19.0	35.7	14.0	▲ 21.7



③地区別DI

	令和3年 7月	令和3年 10月	令和4年 1月	令和4年 4月	令和4年 7月	前期調査 との差
合 計	24.0	25.8	36.3	25.5	40.3	14.8
東青	26.7	27.5	39.2	27.5	46.7	19.2
津軽	22.5	25.0	30.8	24.1	37.5	13.4
県南	26.7	27.5	40.8	25.9	37.5	11.6
下北	12.5	17.5	30.0	22.5	37.5	15.0

景気の現状判断DI  
(地区別)





(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	コロナ騒動もひと段落の様子、大変うれしい。国家として指導力のあるリーダーをなくしたことは非常に残念です。青森県は一次産業と文化芸術を絡めた観光で経済を向上できると考えます。青森県は十分可能です。
		一般小売店	ウクライナ情勢、円安、コロナによる中国（上海）のロックダウンなどで、製品づくり・輸入に大きな影響が出ている。ねぶたの商材ひとつとっても、関連するすべてのコストが値上がり今後への影響は必至。
		商店街	コロナを含めた世界的状況の影響も様々な要素が合わさって大きくなり続けており、通常の季節集中による品切れではない理由での製品確保の滞りが次々いろんなものに波及して行っている。そんなことが続くうちに、電気料金をはじめとする物価高への消費者の認識が拡大して、消費の回復前に再び冷え込む動きになることを懸念している。
		卸売業	食品、酒類メーカーの価格改定があり、混乱している。10/1～のメーカーが多いが家計は厳しくなっていくのではないかと考えている。
		一般飲食店	経済的なことがもう国も個人もいっぱいいっぱいの所まで来てるように思います。逃げてばかりだとずっと追ってきます。官民共に逃げず立ち向かわなければならぬ。そのように感じませんか？
		レストラン	業者さんに聞いても少しづつは活気がもどってきてるような？気がすると…。まだまだ、目に見えてという感じではないので…今後に期待!!
		観光名所等	今まで皆無だった外国人が少しだけ来館している。
		美容院	景気に対してはそれほど変わりはないと思います。出す時は出すが無理にお金は使わないというところでしょうか。
		ガソリンスタンド	古い家を取り壊して土地を売りに出したり、不動産屋が買い取って新築の家を建てているケースが目立つ。
		住宅建設販売	いまだにコロナの影響あり。納期遅延も解消になっていない。
	津軽	コンビニ	客数減、客単価増ですが利益は大幅減。
		衣料専門店	会合が増えた。会食も増えた。
		家電量販店	半導体不足による商品納期の遅れの影響を受けるものの、商品値上げ前の駆け込み需要もあり、第一四半期の総売上額はトータル前年並みと予測する。ガソリン価格高騰は家計に直接影響する、消費行動の買い控えが懸念される。
		一般小売店	当商店街内にあるビアガーデンは天気の良い暑い日にはにぎわっているが、今年は天気が悪いので経営に影響が出ていると思う。
		レストラン	ほとんどの物が値上げになっているが、販売価格の値上げのタイミングをうかがっている所です。実際値上げをしなくては厳しい状況になりつつあります。
		都市型ホテル	業種による好・不調の差が大きくなっている。
		観光名所等	観光、葬祭、宿泊、料理飲食等良い話は聞かない。かろうじてマイクロツーリズムはある。
		美容院	新型コロナウイルスの収束は医学が進んだ現代においてもワクチン接種が進もうと当初言われてた通り5年がかりになりそうで脅威を感じる。
	県南	住宅建設販売	選挙で勝つか?!負けるか?!は大事だが、政治家が我々の生活や仕事のしやすさを忘れて、その活動は成り立たないと思う。
コンビニ		雇用保険と値上がりです。	
百貨店・スーパー		車の取得をしようと注文したら、5か月かかると言われました。	

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	百貨店・スーパー	中心街の空洞化を指摘される声がある中、「はちのへホコテン」などの、市や商工会議所と連動してのイベントが開催されるようになり多くのお客様を動員できる環境が整いつつある。今後さらに感染状況等見ながら積極的に参加協力していきたい。
		一般小売店	当市の中心商店街は氷河期に突入したようだ。老舗百貨店は閉鎖し、商店街関係者や商工会がらみの人たちはこれから何年も苦労するだろう。
		商店街	ガソリンの価格に敏感なのと当市の感染者が県内で一番多い事。
		卸売業	会合や会社単位の飲み会が増えてきていると感じる。
		一般飲食店	この先どの様になりうるか、ビジョンの情報、特に円安の問題、経済の問題、物価上昇など、現在マイナス要因しかない状態のなかどう生き残れるかが最大の関心事ではないのかな～。県、国がどのようなサポートに期待したい。
		スナック	増えすぎです。増えています。大変です!!
		美容院	各会社の各商品の値上げが発表されていますが給料のアップや各手当も実行されるといいなと願っています。
	下北	コンビニ	値段の安い弁当にシフトしている。
		一般飲食店	全然よくも悪くも何も今の所変わりばえしません。
	企業	東青	建設
経営コンサルタント			食品小売業では、約6割近くの商品が値上り、消費者の買い控えにより値上がり品目の約5割の商品が売上減となっているところがある。自動車業界・家電販売業ではメーカーから製品の入荷が滞り、中古品の販売に委ねる傾向がある。今後、円安・ウクライナ危機により原材料高がますます深刻化が進むと考えられる。
津軽		食料品製造	輸入に頼っている農産物が入って来なくなった。手を尽くして集めている状態。価格もどんどん上がっている。
		飲料品製造	運送業社については、大変忙しいようですが、資材等の業者からは、ほとんどの値上り要請があり、納期についても長くなっていて大変です。
		広告・デザイン	倒産している企業は黒字倒産してしまう会社も多く感じる。ここが引き際となってしまう理由を行政にも考えてほしい。
県南		電気機械製造	人材募集に対して一部動きが見られるようになった。補助金・支援金で滞っていた求職の動きが少し始まったのは、人手不足の当社にとっては良いことです。
		建設	米農家は米価の下落とコスト増のダブルパンチで離農を決断する人が多くなってきており、親は自分の子供に農家を継がせないことで、放棄地増や就農者減への推移は明白となってきた。政府は農地集約やICT農機の導入等で所得を増やせると補助金等を設定しているが、農業収入が減少している最中に高価格の農機具を個人農家は購入できるわけがない。農機メーカーも大規模農家を対象とした高価格の農業機械ばかりを開発し、購入したとしても個人農家にはペイできない価格帯まで高騰してきており、高齢化した農家は現存の機械が壊れた段階で離農を決意している人が多い。また、賃金アップをした企業に税額控除を最大40%にするR4の税制改正があり、賃金アップされた現役世代の労働者は物価高騰にある程度対応はできると思うが、毎年のように年金支給額が減らされている年金受給者や、定年退職して賃金が大幅カットされた年金受給できない再雇用労働者には、物価高騰に対応する術や資金力がないので生活が大変だと思う。
		広告・デザイン	国や県では、今後、中小企業を救う資金援助や対策はないのか?コロナ期間より、コロナで打撃を受けた今後の方が大きい。
		下北	食料品製造

分野	地区	業種	自由意見
雇用	東青	人材派遣	各企業で人手不足。人材の募集をしても応募がなく、機会損失になっている。賃金増も見込めていない中、人材の流動性が落ちているように感じる。
		新聞社求人広告	節電、倹約、まとめ買い、これらが加速している気がします。
	県南	新聞社求人広告	新幹線の乗車率も上がっていると聞き、旅行者も増えているように感じる。良い流れになっていると思う。

# 青森県景気ウォッチャー調査について

## 1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

### (1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニエンスストア、百貨店・スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、娯楽業、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

### (2) 調査事項

① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由

② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由

参考1 景気の現状判断

参考2 その他自由意見

### (3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

## 2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、景気の現状または先行きに対する5段階の判断それぞれの所定の点数に各判断の構成比(%)を乗じて算出している。

評価	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が「(景気は)変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性を表す目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ

tel : 017-734-9166 (直通)

fax : 017-734-8038